



令和6年度学校経営グランドデザイン

平田村立小平小学校

平田村の教育指針

すくすく いきいき 未来を拓く ひらたの教育
 ～人を愛し、故郷を愛し、“生きる力”を身につけた、
 健康でたくましい人間の育成～

- ☆『世界に羽ばたき、故郷に貢献する人材の育成』
- ☆『園小中一貫教育で確かな学力の保証』
- ☆『地域連携・協働による教育活動の充実』

夢をもち 未来を切り拓く力を育む 小平小学校の教育

教育目標

心豊かに 未来に向かって たくましく生きる子ども

学校経営の重点

- 一人一人の児童を大切に、全職員の協力・連携のもと児童の充実した学校生活を実現する。
- 授業の改善を図り、主体的・対話的で深い学びを通して「確かな学力」を育成する。
- 教えるプロとして、自己の指導力の向上を目指す、活力あふれる教職員組織を形成する。

めざす学校の姿

～ すべては子どもたちの笑顔と未来のために ～

- 子どもにとっての「学びたい学校」
 - ・ 自分自身で「わかった」「できた」が実感でき、未来への夢を育むことができる学校
- 保護者、地域の方々にとっての「通わせたい学校」
 - ・ 子どもの育ちが実感できる明るい声や笑顔が響き渡り、子どもの将来に夢が広がる学校
- 教職員にとっての「働きたい学校」
 - ・ 教師としての誇りをもち、夢を実現できる、働きがいのある学校

具体目標

- 自分の考えをもち その考えを表現できる子ども (知)
- 人を大切にできる 思いやりのある子ども (徳)
- 健康な心身をもち 最後まであきらめない子ども (体)
- 感謝の気持ちをもって 進んで働く子ども (勤)

めざす教師の姿

- 「仕事に対する使命感や誇り」「子どもに対する愛情や責任感」「常に学び続ける向上心」をもつ教師
- 「子どもの心に火をつける」教育に情熱・意欲をもつ教師
- 「子どもの立場に立った指導」をする人間性豊かな教師
- 「子どもに力を付け、育む指導力」を有し、発揮する教師

みんなの合い言葉 4つの『あ』

ありがとう あいさつ あんぜん あさどくしょ

確かな学力の育成

- ① 基礎・基本の習得と言語能力の育成
 - 授業の中に振り返りの場と適用問題の時間を確保し、学習内容の定着を図る。
 - スキルアップタイム・チャレンジタイムを確実に実施し、個に応じた指導の強化を図る。
 - 読書活動の推進とともに、各教科の言語活動を充実させる。(語彙を豊かにし、表現力を育む)
- ② 「わかる・できる授業」の実施
 - 課題意識と解決への見通しをもたせ、“個別最適な学び”と“協働的な学び”の充実を通して“主体的・対話的で深い学び”の実現を図る。
 - 子ども同士が学び合い・深め合う場、表現する場を設定し、確かな学力を育成する。(地域探究活動、協働的な学習、ICTの活用)
 - 授業研究会・全体研修会・互見授業の充実を図り、指導力の向上を図る。
- ③ 学習の仕方の習得と学びの習慣化
 - 「家庭学習の進め方」を活かし、家庭と協力して家庭学習の習慣形成を行う。

豊かな心の育成

- ① 道徳教育の充実 (重点価値：思いやり)
 - 他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。(ありがとうとあいさつの励行)
 - 「道徳の日」を中核に家庭との連携を図る。
- ② 特別活動等の充実
 - 自主的活動や発表の場・機会を設定し、価値ある体験を通して「達成感」を味わわせる。
 - 異年齢者との交流や縦割班活動・集会等により、思いやりの気持ちを育む。
- ③ 積極的な生徒指導の充実
 - 自分のよいところを認識し、自己存在感を実感できる学級づくり (QUの活用)。
 - 「学級の時間」の充実を図り、共感的な人間関係を基盤とした教育活動を充実する。
- ④ 読書活動の推進
 - 読書タイム (朝読書)、学校図書館の活用により読書活動を推進する。
 - 読み聞かせボランティア、家庭や地域との連携を図る。

健康な心身の育成

- ① 進んで運動する子どもの育成と体力の増進
 - 「小平小運動身体づくりプログラム」を授業のなかで継続的に実施する。
 - 「小平小学校体力アッププロジェクト」に基づいて全校業間マラソン・縄跳びを推進する。
- ② ヘルスプロモーションの理念による心身の健康保持増進と基本的な保健衛生の習慣化
 - 家庭との連携を図り、保健指導を充実し、課題である肥満解消、虫歯治療に取り組む。
 - 食育指導を通して健康的な生活を実践しようとする力の育成を図る。(自分手帳の活用)
 - レジリエンス能力 (困難から立ち直る力) の育成
 - SNSやインターネットの適切な使い方について、家庭でルールを作るなど連携を図る。
- ③ 命を大切にする安全教育の充実
 - 安全点検を徹底し、安心・安全を確保する。
 - 地域の危険箇所や課題を明確にした防災・防犯意識の向上を図る。

進んで働く態度の育成

- ① 友だちや家族、地域のために進んで働く態度の育成
 - 奉仕・感謝の心を育む体験活動を充実させる。
 - 縦割り班による清掃活動の充実を図る。
 - 創意ある児童会委員会の活動を推進する。
 - 子どもと教師と一緒に学校環境づくりに取り組む。(花壇づくり、美化活動等)
- ② 郷土愛を育む「ふるさと教育」の推進
 - 道徳科、総合的な学習の時間 (ふるさと教育) を中核に、地域を愛する心情を育む。
 - 「ひらたの名人・達人」の人材活用を図る。
- ③ 家族や地域のために進んで働く態度の育成
 - 家庭でのお手伝いを奨励する。
 - 地域行事や奉仕作業等への積極的な参加を奨励する。
- ④ キャリア教育の充実
 - 自分のよさに気付き、自己肯定感を高める。
 - ライフプランを考えさせ、将来の夢や希望を実現しようとする意欲を高める。

【特別支援教育の充実】

- ・ 支援を要する子どものニーズに応じた指導・支援
- ・ 交流学习による共に学ぶよさの体得
- ・ 関係諸機関や地域、保護者等との連携強化
- ・ 個別の指導計画の累積と共有

【こども園・小学校・中学校との交流・連携の充実】

- ・ 「交流学习推進事業」すくすくジュニアプランの推進
- ・ ひらた清風中学校の基盤を固める小小交流の推進
- ・ 小学校への接続をスムーズにするこども園との交流推進
- ・ 園小中学校間の連携授業の実施

【家庭・地域との連携】

- ・ 「ふるさと教育」の推進
- ・ ノーメディアデー (水曜日) による「家庭読書の日」の推進
- ・ 各種お便りやHP、集会の機会を生かした家庭との連携強化
- ・ 家庭・地域との連携による安全確保 (交通安全指導、危険箇所確認)

【子どもと向き合う時間の確保】

- ・ 教職員多忙化解消アクションプランIIの実施
- ・ 統合型校務支援システムの運用
- ・ ICTの効果的な活用と作成資料の共有
- ・ 負担感をなくす温かい雰囲気職員室